

## 「白鳥に会いに行こう！」を合い言葉に、カヌー体験

国分寺町B&G海洋センター（香川県）

7月5日（土）、毎年恒例の「ふるさと教室」が香川県の国分寺町B&G海洋センターで開催されました。この催しは、同町の生涯学習課の企画によるもので、10年ほど前から続けられています。参加した町内50名の小学生は、体育館でフライングディスク（フリスビー競技）を楽しんだり、カヌーやローボートで隣接する池を散策しました。同海洋センターを管轄している公園管理課の西原哲文 課長、ならびに鷺辺隆宏 主事に話を伺ったところ、「ふるさと教室」をはじめとする、さまざまなイベントでカヌーを楽しむ際は、漕ぎ終わった後、みんなでモーターボートで沖に出て池に飛び込んで遊ぶそうです。

「最近の子供は、ほとんどプールでしか泳ぎませんので、とても喜びます。ただし、これは私たち指導員と一緒にだからできることであり、勝手な行動をすれば危険を招くことを徹底的に説明します」

子供たちは、普段できない遊びが楽しめるとあって好奇心が旺盛なため、みんな真剣に説明に聞き入るとのこと。教室などで「池に入ったら危険」と言葉だけで注意を促すより、実際に自分たちが体験するので格段に説得力があるそうです。もちろん、安全第一のため子供たちはライフジャケットを着用しますが、こうしたことで「もしライフジャケットを着ていなかったら、どうなるか」といったことも自然に理解できると言います。池で泳ぐメニューは、事故防止の体験学習として考えられたそうです。

また、池には白鳥が飼われており、カヌーに乗る際は、「みんなで白鳥に会いに行こう」と言って漕ぎ出します。ただ乗って遊ぶだけでなく、こうして目的を作ってあげると、上手に漕いで白鳥のいる場所へ行こうという向上心が育まれます。

同海洋センターの周辺には野球場やテニスコート、キャンプ場などが隣接しており、ゲートボール施設では毎週末に親子三世代による交流練習も行われています。また、他の地域海洋センターとの交流も盛んで、今年の夏には香川県琴平町の榎井小学校がカヌーの体験学習にやってきました。



海洋センターの周辺には、野球場、テニスコートやゲートボール施設、キャンプ場などが整備されており、総合的なスポーツ&レクリエーション基地として活用されています

「海洋センターの利用に関しては見直しがされ、より幅広い活用が求められています。これからは、町外の人たちにも体験学習などでどんどん利用していただくことになると思います」

こうすることで、さらに多くの人たちが楽しめ、海洋センター自体の活気も高まります。琴平町の小学校のほかにも、今年は聴覚障害を持つ子供たち向けのローボート体験教室も開催。最初は怖々と乗り込んでいた子供たちでしたが、艇庫に戻ってきたときには、みんな大はしゃぎしていたそうです。

「いまのところ、数カ所の幼稚園や小学校から遠足に利用したいとの相談を受けており、カヌーをもう少し増やしたいところです」

一方、地元の海洋クラブの活動も盛んで、昨年からは海に面した香川県B & G池田町海洋センターに出向いてカヌーの交流競技を行っています。

「普段は池で練習していますから、海に連れていくと喜びます。残念なことに、この池では風が吹かず、ヨットには不向きな場所となっています。だからといって、あきらめていても仕方ありませんから、今後は、他の海洋センターなどの力をお借りしながら、ヨットにも力を入れて行きたいと考えています」

自らの施設には町外者の利用を積極的に受け入れ、地元の海洋クラブは活動の場をどんどん町外へ求めていく。こうした人的交流の促進は、海洋センターのみならず国分寺町自体の活性化にもつながっていくことでしょう。



国分寺町B & G海洋センターを管轄する、同町公園管理課の西原哲文 課長（左）と、鷺辺隆宏 主事



取材当日も、海洋センター体育館では朝から子供たちがスポーツチャンバラで汗を流していました